

音楽

令和6年度 授業改善のポイント

- 1 知覚（聴き取る）・感受（感じ取る）することのみにとどまらず、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えたことを基にして、表現を工夫したり、音楽を聴き深めたりすることができるようにする。
- 2 音楽活動と言語活動を往還する活動を通して、音楽表現を高めていく楽しさを味わったり、音楽のよさや美しさを味わったりすることができるようにする。

音楽的な見方・考え方を働かせて音楽を聴き深める学習

【指導事例】「曲想の変化を楽しもう」（小学校第6学年）

鑑賞「ハンガリー舞曲第5番」（ブラームス作曲）

【ねらい】速度や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて気付く。（知識）



この曲は大きく分けてア→イ→アの三つの部分からできています。アの部分の音楽は、どのような特徴があるでしょうか。「速度」「強弱」の変化に気を付けて聴いてみましょう。聴き取ったことはデジタル付箋に入力し、送信したシートの「聴き取ったこと」の欄に貼り付けてください。

聴き取ったことを全体で共有する



まずは速度について皆さんが聴き取ったことを見てみましょう。

あれ、急に止まるところなんてあったかな。

私も速度が遅くなることには気付いたけど、急に止まったかどうかには気付きませんでした。

その部分をもう一度みんなで聴いて確かめたいです。



それでは、アの部分をもう一度聴いてみましょう。指揮をしながら聴くと、速度の変化や止まった部分に気付くかもしれませんよ。

聴き取ったことについて全体で話し合い、聴いて確かめるなどしながら、聴き取ったことを整理する

音楽の流れに沿って児童の意見を全体で整理していく

重要 聴き取ったことと、音楽から感じ取ったことや想像したことを関わらせて考え、グループや全体で交流する

		聴き取ったこと			
		速度		強弱	
ア 短調 音楽の流れ	速い			大きい	強い
	急に止まる				
	急にゆっくり	止まりそう	おそくなる	急に小さくなる	小さい
	元にもどる	また速くなる		また大きくなる	強さが増える

整理した表を児童のタブレット端末に送信する

もう一度アの部分の聴いてみます。想像したことや感じたことを、タブレット端末のワークシートに書き込みましょう。



皆さんが感じたことは、音楽のどのような特徴によるものなのでしょうか。感じ取ったことと聴き取ったことを結び付けて考え、グループで交流しましょう。タブレット端末で聴いて確かめてもいいですよ。

僕は、大きな恐竜から逃げているところを想像したよ。速度がゆっくりになるところは見付からないように抜き足差し足で逃げようとしているところ、「ジャン！」と大きな音の部分は転んでしまって、また恐竜に追いかけてられているところだと思ったよ。

私は寝坊して大慌ての様子を想像したよ。急に止まって速度がゆっくりになるところは、間に合いそうだとほっとしている感じ。また急に音が大きくなって速度が速くなるところは、忘れ物に気付いて家に戻って、また走って学校に向かって、ギリギリで間に合ったように感じたよ。



【振り返り】みんなの感じ取ったことがそれぞれ違って面白かったです。話し合ってからもう一度音楽を聴いたら、もっと想像が広がって更に曲が楽しく感じられました。

ポイント1 重要

音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取る活動を設定します。知覚と感受のどちらを先に行うか、どちらも同時に行うかなど、学習内容や児童生徒の実態を踏まえて授業を構成します。

ICT デジタル付箋機能を活用することで、児童生徒の考えを効率的に共有することができます。聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて考える活動に有効です。

ポイント1、2

音楽的な見方・考え方を働かせて言語活動をするためには、全ての児童生徒が音楽を形づくっている要素を正しく聴き取っていることが鍵となります。特徴的な部分を聴いて確かめたり、体を動かしながら聴いたり、楽譜を見ながら聴いたりするなど、効果的な手立てを工夫します。

ポイント2 **ICT** イヤホンスプリッターを使用することで、1台の端末で複数名が同時に音楽を聴くことができ、話し合ったことを実際に音楽を聴いて確かめることができます。